

平成27年3月18日

風は東から

To be continued...

「鍛錬期」もいよいよ終盤！！

冬に泣いて、笑顔で春を迎える！！

「土浦市長杯」に参戦！！

遠征の厳しい洗礼を受け、「心身」とともに逞しく成長！！

学年末考査終了後、早速サッカー部はTRを再開しました。考査一週間前から10日振りのTRということもあり、子どもたちの体は重く動きも鈍かったのですが、これも想定内。週末に参加する「土浦市長杯」に向けて、通常通りのTR内容で体をいじめました。

考査後中一日での大会に遠征というハードなスケジュールではありましたが、冬の鍛錬期のTRの一環と捉えて、敢えて厳しい選択をしました。本来であれば、「土浦市長杯」という名誉な大会に招待を受けているので、コンディションを整えて万全な態勢で臨むべきでしたが、ここはチームの事情を最優先に考えて、筋肉痛で悲鳴を上げたくならないような状態で土浦に乗り込みました。

大会は、茨城県内の強豪校である鹿島学園、第一学院、鹿島、水戸桜ノ牧高校をはじめ、福島、埼玉、東京の各都県からも参加、全16チームで行われました。

初戦から、全国区の鹿島学園との対戦。しかも、三時間近い移動直後のゲームとあって強豪校相手に苦戦は必至かと思いましたが、30分ハーフのゲームということもあり前線から積極的にチーム全員でプレスをかけ続け、予想外？にも東高が主導権を握る展開となりました。前半8分に先制すると、その後も決定的なチャンスを何度も作りますが、相手GKのスーパーセーブが連発し、ゴールを奪うことができません。逆に、こちらがもたついている間に、鹿島学園のカウンターから二失点…。後半も攻め続けますがゴールにはあと一步及ばずに、結局1-3で敗れました。その後、慌ただしい中でB戦行い、直ぐに行われた二戦目の日立商業戦はミスが目立ち失点を重ねます。後半やっと本来の調子を取り戻すものの終わってみると2-3で敗れ、初日を終わりました。



＜土浦市長杯、初戦は鹿島学園と＞

非日常が子どもたちを更に逞しくする！！

土浦遠征は、最終日に昨年度茨城県ベスト4の水戸桜ノ牧高校と、最終戦は土浦日大高校と闘い今大会を終えました。この二日間は、A戦四試合とB戦三試合が行われ、まさにサッカー三昧の時間を過ごすことができました。また、子どもたちにとっては、違った環境の中で行われた大会に参加できたことは、貴重な体験になったことと思います。通常は、東高でTRMが多く組まれるので、勝手知ったるホームグラウンドで、子どもたちは快適に「オン」も「オフ」も過ごさせています。しかし、他校で行われるゲームでは、こちらはお客様なので相手校に気を遣わなくてはなりません。トイレや水道、自動販売機の位置も自分たちで確認し、外で次のゲームまで待機しなくてはならないのです。しかも、今回は二日間とも雨がパラつき、尚且つ気温も低いという悪条件でした。そう、**Awayでは不自由なことばかり！**

しかし、こういう厳しい条件が揃っている中でこそ、この冬のTRの成果や子どもたちの心の強さが試されます。遠征という非日常の中に身を置き、その中で起こる苦難や理不尽さにも正面から立ち向かい、自分の限界に挑戦する心が、子どもたちの成長を促していきます。そして、理不尽さを受け止め、経験できて鍛えられてこそ、子どもたちは逞しくなっていくのです。妥協できない男のプライドやポリシーはそういう厳しい環境でこそ育まれてきます。

私立のサッカー部のように、遠征は頻繁にはできませんが、今回のような経験を少しでも多く積みませ、「男の子」⇒「男」に成長させていきたいと思っています！

「世の中というのは理不尽なことばかり。」

しかし、その理不尽さこそが人を育てる！！」 (ある強豪校の監督の言葉)



＜遠征帰りの集合写真。子どもたちの笑顔が全てを物語っています！！＞

<After the Game>

「土浦市長杯」から無事に帰ってきました。とても貴重な経験ができたと思います。ありがとうございました。対戦チームの先生方からも評価をされ、「是非、来年も参加を！」と言われました。

今年度も残り僅かとなり、花粉(季語?)とともに桜の便りが届く季節となりました。先日、後期入試も終了し新一年生合格者が全て決定しました。サッカー部希望者も多く楽しみ。**新人パワー**と**先輩パワー**がお互い切磋琢磨し、チーム全体がレベルアップできるといいですね！

